

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	○チームで作る介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	職員はモニタリング表に沿って、利用者の課題や実践状況を確認している。職員が一人ひとりの利用者を意識して確認できるようなモニタリング表があるとよいと思われる。	各職員が利用者の自己評価をモニタリングに記入する。各職員は自己評価の根拠等を記入し、それらを基に、職員が共有できる計画を作成していくように努める。	12ヶ月
2	35	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	昨今は想定外の災害も多発している。夜勤者を含む全員が、様々な災害を想定した訓練に参加できるようにすることが望まれる。	夜勤専従の職員も訓練に参加できるよう、訓練時間を夜勤明けの時間帯に変更する。また、災害マニュアルを見直し、全職員が熟知し、災害対応ができる体制を強化していくように努める。	6ヶ月
3	49	○日常的な外出支援 一人ひとりがその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している。	ホーム周辺の散歩や外気浴など、利用者が外気に触れる機会を持てるように検討することが期待される。	現在も集団クラスターや施設クラスターが見られることから感染リスクを少なくする為、周辺散歩は非積極的になっています。国、県、市の感染状況を確認しながらホーム周辺の散歩等の開始時期を決めて行く予定です。敷地内の外気浴は行っています。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月